



## 秋葉代表理事を再任

東北建設マネジメント技術協会

東北建設マネジメント技術協会(秋葉敬治代表理事)は5月27日、仙台市青葉区の東京エレクトロンホール宮城で2024年度定時総会を開き、任期満了による役員改選で秋葉代表理事ら



を再任した。技術力の研さんや人材育成などを盛り込んだ事業計画を承認した。

秋葉代表理事は「昨年の協会設立5周年記念式典には東北地方整備局からも多数ご出席いただき、発注者との信頼関係の高まりと今後への期待を感じている」とあいさつし写真。「社員

の健康に気を配りながら、今後も東北の社会基盤の充実に取り組んでほしい」と呼び掛けた。21年度に調査を開始した工事監督支援業務の実態調査では、結果を東北整備局に提出し「事務所長会議での周知や各出先機関への通知の結果、本年度の入札に反映されていた」と成果を報告した。

本年度の事業計画では、建設マネジメント技術の研さん・振興に向けた意見交換会や技術者の地位向上、生産性向上、防災エキスパート活動などに取り組む。東北整備局と共催している写真パネル展では、新たに道の駅寒河江(山形県寒河江市)でも開催する。



東北建設マネジメント技術協会

## 東北建設マネ技協

## 秋葉代表理事を再任

総会

末尾の数字は開催月日

は、仙台市内の東京エレクトロンホール宮城で2024年度定時総会を開いた。写真。任期満了に伴う役員改選で秋葉敬治代表理事をはじめとする役員を再任した。

議事では24年度事業計画が報告され、建設マネジメント技術の研さん・振興につながる意見交換会の開催や、技術者の地位向上、生産性の向上、防災エキスパート活動などに取り組むとした。

さらにインフラDX（デジタル・トランスフォーメーション）を含む技術力確保と高度化に向けた研修・講習会を実施。東北地方整備局と共催する写真パネル展は、関係事務所の協力を得て開催地の拡大や内容を充実させる。このほか、ホームページ上で若手技術者のリレートークを展開し、広く理解と関心を集めることで、土木技術者の底辺を拡大する。（5・27）

## 東北整備局への要望事項固まる

24年度  
定時総会

### 秋葉代表理事を再任

東北建設協  
東北マネジ技術協

東北建設マネジメント技術協会(秋葉敬治代表理事)は27日、2024年度定時総会を仙台市の東京エレクトロンホール宮城で開き、



秋葉代表理事

東北地方整備局への要望事項を決めたほか、役員改選で秋葉代表理事(中野建設コンサルタント)を再任した。

開催に当たり、秋葉代表理事は「自然災害が年々激甚化する中、国土交通省職員の減少に伴う発注者支援業務が増え、われわれ協会への期待はますます高まっている」と述べ、活動を充実させる方針を示した。その資格取得のための業務

東北整備局には、複数年契約の業務委託で設計変更を可能とすることなどを盛り込んだ10項目を要望する。国債を活用した複数年契約の業務委託は途中で技術者単価が上昇しても当初契約の内容が継続され、工事

経験にすること」も新たに要望する。6月24日に予定している東北整備局との意見交換会で提出する見込み。

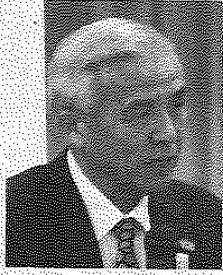
本年度の事業計画では▽建設マネジメント技術の研さん・振興に資する意見交換▽インフラDXに関する研修会・講習会▽写真パネル展による広報活動▽業務遂行に伴う課題抽出を目的としたアンケート調査▽建設マネジメント業のニーズ把握と必要なスキルの研究―などを行う。

東北建設マネジメント技術協会(秋葉敬治代表理事)は27日、仙台市内で2024年度の定時総会を開催した。役員改選など3つの議案を決議したほか、要望事項など2項目を確認した。役員改選では秋葉代表理事の再任が決定。して調査を継続したい」と述べて、要望事項には新規2項目を含み計10項目を盛り込んでお

## 整備局に10項目要望へ

局との意見交換会で同局に提出する。あいつで秋葉代表理事は、2021年度に開始した工事監督支援業務の実態調査について、結果がまとまり昨年度

交換会や、発注者支援業務代表管理者会議を「これまで以上に充実した内容にしたい」と意気込むとともに、「インフラDXを含む各種研修会にも積極的に参加していきたい」と意欲を示した。



秋葉代表理事

### 東北建マネ協会が総会

総会には会員21社から、14社が出席し、7社が委任状を提出。2023年度の事業報告や役員改選など3つの議案を決議するとともに、報告事

# 秋葉代表理事を再任



役員改選などの議案を議決した

項として24年度の事業計画と予算や要望事項書について確認した。23年度に行った活動のうち、工事監督支援業務の実態調査に関するとりまとめは、工事監督支援の歩掛が実態と合っていないかったため、調査を行って一つの業務にどれくらいの人が必要かを求めたところ、東北地方整備局が本年度の発注業務から反映していることが確認できた。また、24年度の事業計画には、協会の確実な技術力の確保と高度化に資する研修会・講習会の開催、写真パネル展による魅力ある工事の広報活動、協会ホームページでの若手技術者のリレートークを盛り込むなどした。

要望事項については、新たに「複数年契約方式業務において、技術者単価変更を受けた契約次年度以降の設計変更契約を可能とする」と「保有資格者を条件とする業務での経験を、その資格取得のための業務経験にすること」の2つを新規に追加した。

このうち保有資格者に関しては、ある仕事をするために資格のない人が補助者として業務経験を積んだ際に、その経験を資格取得のための資格要件とするよう求める。役員改選では、秋葉代表理事と柴田久業務執行理事や、それ以外の理事6人を全て再任した。